

(款) 25労働費 (項) 5労働諸費 (目) 5労働諸費

◎労政一般の経費

技能振興事業

【 市民活動課 】

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち

勤労者福祉:市内の企業で、勤労者の働く環境が充実し、安定的な雇用が図られているまち

【事業の目的】

対象 技能職者

意図 技能者の技術水準の向上や、社会的地位の向上を図るため。

効果 技能振興を図る。

【事業の内容】

(1) 技能振興事業

- ・技能功労者等の表彰、技能祭の共催及び技能職団体連絡協議会の活動支援により、技能振興事業を支援した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
871	871	844		27
主な支出内訳				
・技能振興事業				
技能者表彰記念品等報償費				504
技能職団体連絡協議会補助金				340

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 市民-04 技能振興事業 □支援部門						
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	615 技能振興事業					
主管課	市民活動課	関連課					
分野名	勤労者福祉						
目標 (目標値)	技能者表彰や技能職団体への助成を通して技能振興、技能者の労働・生活環境の向上を図る。						
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考		
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日		
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯			
運営資源 状 況	決算値	844千円	1,200千円	774千円			
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	844千円	1,200千円	774千円			
	人員配置数	0.9人	0.9人	0.9人			
	人件費	8,034千円	8,145千円	8,211千円			
事務事業 運営経費	協働の パートナー						
	総事業費	8,878千円	9,345千円	8,985千円			
	市民1人当 りの経費	50円	53円	51円			
対象者1人 当りの経費							
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価							
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※		
技能振興事業	▲40	技能者表彰選考委員会委員報酬の引き下げ			④		
					※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)		
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
技能者表彰者数	○	目標値	50人	50人	50人	50人	
		実績値	39人	45人			
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(23年度)
技能職団体連絡協議会 の自立	◎	目標値	40%	40%	40%	40%	50%
		実績値	40%	40%			
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)							
団体名	鎌倉市	川崎市	横浜市	藤沢市	厚木市		
技連協組合数	48	66	46	37	26		
技連協組合員数	1,473人	20,200人	53,399人	1,377人	624人		
市補助金額	340千円	3,373千円	3,300千円	435千円	200千円		

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・若年技能者の減少
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・鎌倉市技能職団体連絡協議会との共催で実施する技能祭において、若年者やこどもの参加を促進するため、こども向けの催し(展示や参加)を増やした。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・若年技能者の減少
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・従来から実施している技能者表彰や技能祭開催を通じて技能振興や市民への認知度を向上させるとともに、新たにホームページ上に技連協の活動や組織を紹介するページを作成し、技能者の活動について周知を図る。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	B	改善の必要性 有
	技連協において若年技能者を育成する組合を支援する方策を検討していく。また、市民の需要と技能者を結びつけるため、機会をとらえて技能職団体のPRを行っていく。		
担当課長氏名:	吉田 宗一		

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	B	改善の必要性 有
	伝統技能を守り、後世に伝えることは重要な課題であることから、団体の活動を多方面から支援するとともに、鎌倉の技能を多くの市民に周知することが必要である。		
担当部名	市民経済部	部長名	相澤 千香子